

## 1 採点上打ち合わせた事項

## (1) 審判研修の実施

- ア 新体操の現状について
- イ 採点競技の特性について
- ウ 新体操の方向性について

- (ア) 個人競技について

- (イ) 団体競技について

## エ 個人競技の採点内容の確認

- (ア) 構成採点と実施採点を採用する大会であること。

- (イ) 構成採点は、各要素や難度の有無確認をして採点のうえ順位付けを行う。

- (ウ) 実施採点は、減点をしっかり見ることであるが、減点ありきの状況にしない。

- 動きの質や手具操作の見極めをした上での採点が大切であること。

## オ 団体競技の採点内容の確認

- 構成採点と実施採点についての確認を行う

## カ 審判員の採点・業務にあたっての心得について

- (ア) 特に審判員は、会場内での監督・選手との接触をしないこと。

- (イ) 審判員としてのモラルとマナーの厳守について、自覚と誇りを持っての審判業務を行うこと。

## (2) 主任審判員を中心に採点規則及び高校生適応ルールの確認

## (3) 監督、コーチや選手に競技者としてのモラルマナーを求める

## 2 採点上起こった事項とその処理

- (1) 個人競技中、1種目終了後に鼻血を出してしまった選手がおり、演技順についての対応に心配させたが、2種目開始時には止血したとのことで予定どおり演技する。

- (2) 個人競技において、伴奏音楽が開始しない状況になるが、主審の合図により再試行させる。音響機器が伴奏音楽を上手く呼び込めていなかったことにより減点なし。

- (3) 所属マークが基準以下であるとの連絡あり、演技終了後に確認をする。  
大きさの規定を満たしていない上、下地とマーク生地が同色のために減点処理を行う。

- (4) 団体競技において、事前にテーピングの色について問い合わせがある。  
原則は、肌色であるが白色も減点の対象にしない方向で実施してきましたが、他の色であったために、肌色か白色にするよう指示しました。

- (5) 団体競技の演技中、伴奏音楽に日本語はっきり聞き取れる言葉が入っていた事、演技中に審判長席まで聞こえる選手のかけ声があり、主審と協議の上減点の対象としました。

## 3 その他特記事項・意見・感想等

- (1) 個人競技において、上位に入賞する選手は新採点規則に対応した構成や実施がみられ演技である。  
しかし、一方では、演技を見せる為の基本的動きづくりの未熟な選手

- も見受けられ、指導者の方には今後の指導課題がご理解いただけるのでは思いました。

- (2) 団体競技において、構成に創意工夫がみられる各チームの特色があり、監督のご苦勞が垣間見られる作品が多く、また男子新体操ファンが魅了される作品が多く見受けられました。ただし、構成において転回系の部分が組運動とタンブリングの組合せが非常に多くなっている感じの印象を受けます。男子新体操団体競技としての方向性の方針も発信する必要を感じました。また、転回系を実施するにあたり、精度の高い転回系と着地の完成度を高めなければ減点が多くなることにご注

意いただきたい。

- (3) 個人競技における転回系の宙返り等を実施する時、空中での手具操作が必要です。
- (4) 黒い靴下を着用しての演技者が個人競技や団体競技に多く観られるようになりました。新体操は演技を見せる競技である事を意識した上で、選手のレベルにあった服装も大切であると感じます。
- (5) 伴奏音楽の音量が競技中、次第に大きくなってきました。音量の大きさと採点の高さとは比例しません。適度な音量での演技実施を望みます。また、大会終了後一般の観客の方より、演技中の声援についての苦情を受けました。

男子競技は、その実態ではないのですが、大会関係者が全体で演技中の声援についての是非について、ご検討されることを望みます。声援の大きさと高得点になるかの問い合わせには否定をしましたが、落ち着いて観ていただけない観客の皆様方の苦情に耳を傾ける必要はないのでしょうか。
- (6) 撮影許可された場所以外での撮影があり、監督の方には選手だけでなく応援の方々へ大会マナー等のご連絡をいただきますようお願いします。また、大会役員や競技役員の行動も同様にモラルやマナーの厳守しなければいけない時代です。観客席からは演技だけでなくいろいろなことを見ておられます。関係者一同が注意していきたいことです。
- (7) 全国高校総体は、大会開催する上での規定が多く設けられています。当然高校生である選手にも同様に規定されております。少なくとも、高校生としてふさわしい姿かどうか、そして、全国大会であり選手権大会であることの意義を考慮していただきたいと思います。また、男子新体操界全体の課題かとも思います。
- (8) 昨年同様に演技前や終了後とすばらしい演技には、会場全体での応援をしていただき、大変盛り上がったすばらしい大会でした。
- (9) 開始式や表彰式を含め大会運営がすばらしい大会でした。地元役員の方々及び補助員の生徒諸君のご尽力に対して、心より感謝申し上げます。

団体競技（男子：構成主審・実施主審、女子：D1・E1）

個人競技（男子：構成主審・実施主審、女子：D1・E1）

安福 康夫

## 1. 採点上打ち合わせた事項

### (1) 団体競技

- ・団体的同時性を重点に置き、その演技の技術的価値を評価する。
- ・転回系要素に偏ることなく、徒手系要素やその運動の組み合わせの価値と多様性を重視する。

### (2) 個人競技

- ・転回系の派手さに惑わされず、体の動きと手具操作が一致しているか、またその多様性を見抜く。
- ・追加の難度の数や独創性のとり方について

## 2. 採点上起こった事項とその処理

### (1) 団体個人共通

- ・伴奏音楽に歌詞があるものがあり減点した。また怪しいものは音楽を提出していただき確認をした。
- ・所属マークが既定の大きさに満たない選手がいた。演技後にユニフォームを提出していただき確認のうえ減点とした。

## 3. その他特記事項・意見・感想等

### (1) 団体個人共通

- ・新ルールで行った初めてのインターハイということもあり、審判団の緊張感も高く、良い研修が行えました。

### (2) 団体競技

- ・転回系の時間が長すぎると感じるチームがいくつかあり、上位にも入賞している。徒手系と転回系のバランスと採点について、もう少し検討する必要がある。
- ・運動の内容やその組み立てについて価値が低いと感じられたチームには技術的価値の部分で減点が多くなった。
- ・1段スタートや2段スタートについて、ただ側転を同時にしているだけで、その後バラバラになるという構成が目についた。審判が判断しにくくミスジャッジにもなりかねないこともあるが、新体操の見どころでもある転回系の同時性や同一性というものが軽視されているようにも感じた。

### (3) 個人競技

- ・上位の選手は転回系だけでなく手具操作に優れた選手が多く、よく工夫されていた。
- ・難度数が増えたことにより詰込み型の演技が多く見られたが、上位選手はバランスよく配分されていた。

### (4) その他

- ・高校生の教育の一環として行われている大会にあって、ルールやモラルを無視するチームや指導者について強く異議を唱えたい。
- ・最後に開催県である島根県の役員・補助員の皆様には、大変心のこもった大会運営をしていただき感激いたしました。本当にありがとうございました。

団体競技（男子：構成主任・実施主任，女子：D1・E1）

個人競技（男子：構成主任・実施主任，女子：D1・E1）

岡田 幸樹

## 1 採点上打ち合わせた事項

- (1) 「減点ありきの採点ではない」事を確認。
- (2) 「動きの質」を見抜く審判資質の向上を要望。
- (3) 技の正確性と難度のとり方・作品全体の熟練性を見極め、審判員個人的に順位付けができるようにすること。
- (4) 審判員が全てに演技に対して自信を持ってジャッジし、その責任において説明が出来るようにすること。
- (5) 団体競技・個人競技ともに我々、審判員や指導者、競技者そして観客の皆さん、大会を支えていただいている多くの方々に恥じることのない審判を行うことを確認しました。
- (6) 審判技術の向上として、全体的な動きを見抜く力と認める力を養い、感性を磨いたうえで減点のチェックだけにならないようにする。

## 2 採点上起こった事項とその処理

- (1) 音響のミス：運営側の不具合(個人1名)

処置：・・・主任審判の指導でコールからやり直して問題なし。

(2) 団体競技において：

ア 演技中に故意に号令などの合図を行った。

イ 選手の頭髪について観衆及び審判員が不快に思う頭髪であった。

処置：・・・競技規則第41条の9及び11に抵触した為に0.4の減反を行った。

3 その他特記事項・意見・感想

(1) 今大会で新ルールの運用で主任審判員をさせていただきました。審判団も今まで以上の緊張感を持って審判にあたった。個人競技においては一つのミスが大きな減点となる為かえってミスを恐れた演技が多く動きのダイナミックさや投げの高さの迫りに欠けていた。結果としては、逆ミスが多かったように感じた。団体においては、個人とは逆に上位校は大変良く熟練されており、ダイナミックさの中に美しい体操があり、極限から極限の動きが随所に表れていた。可動域の大きさの重要性や柔軟性の大切さ、そして練習量の大切さが良く表れた大会であった。

ひとつだけ残念なことは、団体競技において、高校生としてのモラルやマナーを問われている中で競技規則を無視した違反行為や「高校生らしさ」を欠く行為があったことは、非常に残念であるとともに審判として、指導者としてそして大人として子供たちに正しい指導が出来ていなかったことが、悔やまれます。

また、生徒たちに大きな怪我がなく、大会が成功裡に終わったことは、大会関係者の方々や地元の皆様のおかげと痛感しました。また、審判員の方々も優秀で自信を持って採点して頂いたと感じています。本当に皆様に感謝いたします。